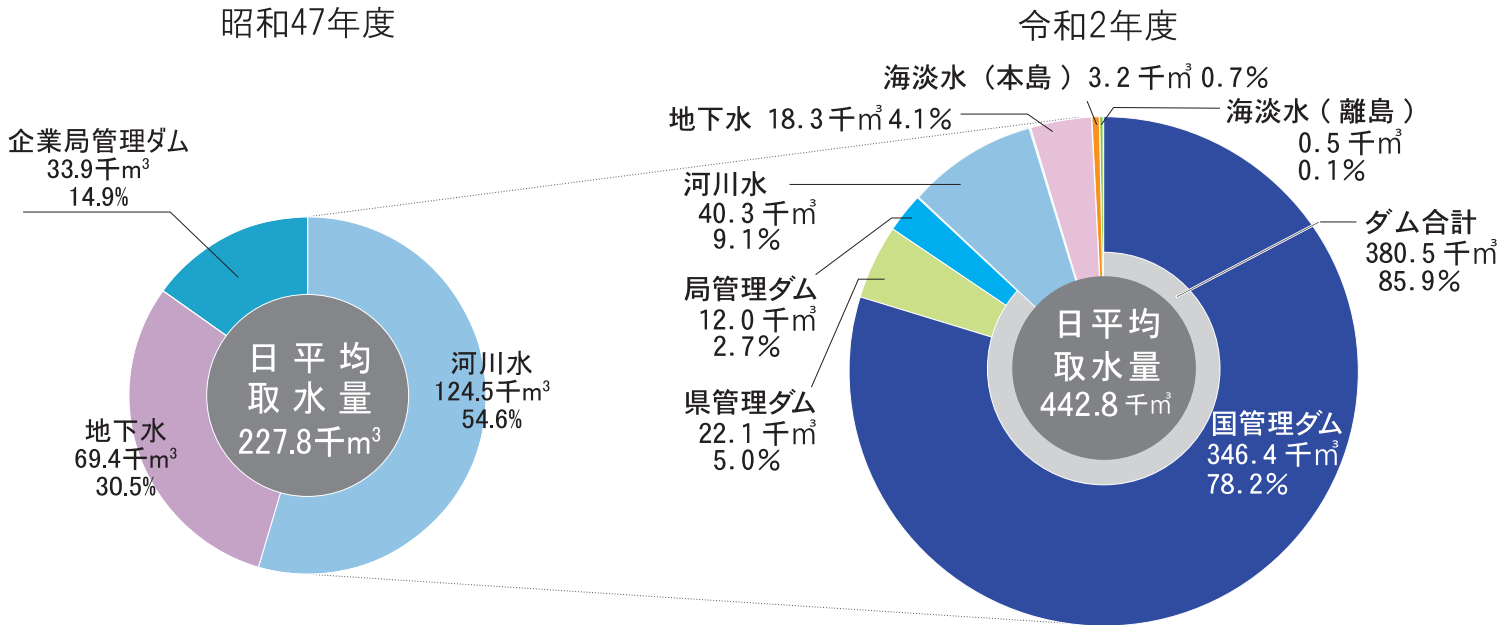


# 水源別取水量

企業局の水源は、ダム水・河川水・地下水・海水淡水化水の4種類です。

沖縄県が本土復帰した昭和47年度と令和2年度を比較すると、取水量は2倍に増え、水源別の取水割合も大きく変わっています。令和2年度は、約44万2,800m<sup>3</sup>の日平均取水量に対し、ダム水が約38万500m<sup>3</sup>（約85.9%）となり、その多くを占めています。



※ 数値は端数処理のため一致しない場合があります

# 市町村等別供給量

(単位: 千m<sup>3</sup>/年)

市町村名	項目	令和2年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
那覇市		36,840	24.2%	昭和47年5月15日
沖縄市		19,993	13.1%	昭和47年5月15日
宜野湾市		10,956	7.2%	昭和47年5月15日
浦添市		14,188	9.3%	昭和47年5月15日
読谷村		4,957	3.2%	昭和47年5月15日
南部水道企業団		6,995	4.6%	昭和47年5月15日
嘉手納町		1,499	1.0%	昭和47年5月15日
北谷町		4,683	3.1%	昭和47年5月15日
北中城村		3,140	2.0%	昭和47年5月15日
豊見城市		6,963	4.6%	昭和47年5月15日
与那原町		2,119	1.4%	昭和47年5月15日
中城村		2,366	1.5%	昭和47年5月15日
西原町		4,285	2.8%	昭和47年5月15日

市町村名	項目	令和2年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
名護市		1,821	1.2%	昭和47年5月15日
糸満市		6,964	4.6%	昭和47年5月15日
本部町		222	0.1%	昭和50年6月10日
今帰仁村		509	0.3%	昭和50年7月12日
伊江村		533	0.3%	昭和52年2月1日
恩納村		2,704	1.8%	昭和52年7月20日
金武町		1,570	1.0%	平成元年10月1日
うるま市		14,179	9.3%	昭和47年5月15日
南城市		4,831	3.2%	昭和47年5月15日
粟国村		90	0.1%	平成30年3月1日
北大東村		91	0.1%	令和2年3月30日
座間味村(阿嘉・慶留間地区)		0	0.0%	令和3年3月29日
合計		152,496	100.0%	

注1) 南部水道企業団は、八重瀬町と南風原町により構成されています。

注2) うるま市と南城市は、合併前の構成市町村の給水年月日を掲載しています。

注3) 数値は端数処理のため一致しない場合があります。